



香 風

9月



令和7年
9月16日 第7号
編集責任
校長 古川 志乃

〔南中学校 学校教育目標〕

「郷土を愛し、確かな学力を身につけ、未来を切り拓こうとする子どもの育成」

〔中期的な教育目標〕

- ① 一人ひとりが主体性をもち、学び合い高め合う生徒の育成
- ② 自他を尊重し、仲間と共に粘り強く取り組む生徒の育成

〔本年度の重点目標〕：

「なかまのことを考え、支え合う集団をめざし行動する生徒の育成」→「考動」



「名月を取ってくれろと泣く子かな」 小林一茶

「名月や 取ってくれろと 泣く子かな」by 小林一茶 作者が娘を背負っているときに、十五夜のきれいなお月さまを見て、取ってほしいとせがまれた様子を詠んだ句です。地球温暖化の影響か、いつまでも猛暑が続く秋ではありますが、夜空に浮かぶお月さまは、昔も今も変わらず・・・秋の彩を楽しませてくれています。暑さに惑わされることもなく、校庭の木々の葉は舞い落ち、秋の訪れを感じさせてくれています。

生徒たちは、夏休みを終え、学校モードに切り替えるやいなや、定期考査(9月3日～5日)に臨み、そして翌週には答案用紙をもらって一喜一憂していました。自分の学習の仕方の何を改善すべきなのかを振り返る材料にしてほしいと思います。また、1・2年生においては、中体連の新人大会が始まりました。9月9日(火)に、激励会を行い、各部の新年部長が引退した3年生の思いを引継ぎ、試合に挑む決意を述べました。吹奏楽部や美術部(3年生を含む)も、八女地区連合音楽会や合唱コンクールに向けた意気込みを語りました。そして、3年生においては、各高等学校の体験入学等へ積極的に参加し、自分の進路について真剣に考え始めています。

8月30日(土) 17:00～ 平田天満宮にて
「平田夏まつり」 ゲスト出演：南中学校吹奏楽部
ノリノリの曲で夏まつりのオープニングを飾りました。
お客さんも手拍子をたたいて、一緒に楽しんでいらっしゃいました。「奏でる音楽で人の心を豊かにする！
人を幸せにする！」って素敵なことですね。

9月7日(日) 名古屋市名東文化小劇場にて
All Japan Dance Channel Challenge Cup
中学生部門 3位 さん(2の1)

中学生4名でチームを組み、ヒップホップダンスの選手権大会に挑みました！ 目指せ！ Next stage!



生徒会役員改選に伴い、11名の生徒(1・2年生)が生徒会役員に立候補し、責任者や応援者と共に選挙運動に取り組んでいます。

この役員改選にあたり、選挙管理委員(各学級1名)は7月から準備に取り組み、公正かつ活気あふれる役員改選になるよう務めています。

【選挙運動】

○朝のあいさつ運動 9月9日(火)～9月18日(木)

○政見放送 9日(火)会長候補、10日(水)副会長候補、11日(木)書記候補

【立会演説会・投票】 9月18日(木)

「こんな学校にしたい!」「そのために、こんな取り組みを行います!」給食の時間を利用した政見放送で、立候補者一人一人の南中学校への思いを聞き、とても頼もしく思いました。立会演説会においても、立候補者の公約に込めた思いを聞くことにより、よりよい学校づくりを共に考える機会にしてほしいです。

八女市中学生平和学習事業に参加して…



ヒロシマ・ナガサキの原爆投下から80年の節目の年。8月6日(火)、「八女市中学生平和学習事業」のメンバーに選ばれた10名(市内の中学2年生・義務教育学校7年生から各校1名)は、広島での「平和記念式典」に参列しました。本校から参加した さん(2の3)の感想の一部を紹介します。

【 さんの感想より】

平和記念式典の会場に入った瞬間、今までに感じたことがないとても厳粛な空気を感じました。会場には百二十あまりの国や地域の人々が参列され、また、会場の外でも八十年の節目に祈りを捧げていました。式典は厳かな雰囲気の中、進んでいき、広島市長の「平和宣言」が始まりました。その中の「核兵器のない平和な世界を創るためには、たとえ自分の意見と反対の人がいても、まずは話してみることが大事」という言葉が心に残っています。戦争は意見の対立から始まるので、まずは話してみ、相手の考えを受け止めることができたなら戦争は無くなると思いました。広島市内の小学生の「平和への誓い」では『one voice』という言葉が印象的でした。「たとえ一つの声でも、学んだ事実思いを込めて伝えれば、変化をもたらすことができる。」という訴えにとっても共感しました。…(中略)…多くの人の命や未来を奪う戦争。どんな理由があっても、してもいい戦争や意味のある戦争なんて一つもありません。戦争は二度と繰り返すべきではありません。今は、復興して明るくにぎやかになったヒロシマのように、世界中が明るかったらどんなに幸せかと思います。たった一つの声でも学んだ事実思いを込めて、伝え、変化をもたらす、そんな「one voice」の精神が身近な人から世界中に広まったら、平和で幸せな明るい暮らしが全世界で待っていると思います。みなさんも、まずは、身近な人に伝えることから始めてみませんか。

福岡県中学生イングリッシュキャンプに参加して…



英語のみを用いた活動や宿泊体験を行うことにより、英語のコミュニケーション能力を育成するとともに、英語を用いて国際社会で活躍したいという意欲を高めることを目的とした「福岡県中学生イングリッシュキャンプ(福岡県教育委員会主催)」が、8月18日(月)～21日(木)[3泊4日]にハウステンボス内のホテルデンハーグにて開催されました。本校から参加した さん(3の2)の感想の一部を紹介します。

【 さんの感想より】

I went to HUIS TEN BOSCH to join the English Camp for four days during summer vacation. For four days we mustn't speak Japanese. We had to speak only English. On the first day, I couldn't understand English spoken by foreigners. I also couldn't talk with foreign teachers. It made me frustrated. So I listened to their English carefully. …(中略)… Now, I appreciate my family, my teacher and this opportunity. I'll continue to study English harder and harder to achieve my future dream of becoming an English teacher. I believe "Persistence pays off".

【上記英文の概要(和訳)】

4日間のイングリッシュキャンプに参加して、良い経験になった。英語だけしか使えなくて、初日は英語の先生が話していることを理解できず、とても悔しかった。でも、一生懸命相手の言うことに耳を傾け、少しずつわかるようになり、コミュニケーションがとれるようになってうれしかった。家族、先生、このような機会を与えてもらったことにとても感謝している。将来の夢である英語の先生になるために、もっともっと懸命に英語を勉強し続けます。「継続は力なり」という言葉を信じて。

上妻小・三河小へ「読み語り」 1年生 8月28日(木)

夏休みから準備(「読み語り」をする本を選んだり、読む練習をしたり)をしてきた1年生(ボランティア参加)。8月28日(木)、上妻小・三河小のそれぞれに自転車で登校し、1年生～6年生全クラスに分かれて「読み語り」を行いました。身を乗り出して聞いてくれる小学生に向かって、ゆっくり、はっきり大きな声で本の魅力を伝えていました。恩師の先生方からもお褒めの言葉をいただき、大満足で小学校を後にしていました。

後日、両小学校から児童一人一人が書いてくれたお礼のメッセージが送られてきました。廊下に掲示していますが、とても嬉しいメッセージがたくさんで、参加しなかった生徒も「行けばよかった～」とつぶやいていました。

定期的に読書ボランティア読み語りをしていただいているスタッフの皆様には、読み語りの練習にもご協力いただき、本当にありがとうございました。

